会　告

平成19年度事業報告

（平成19年4月１日から平成20年3月31日まで）

社団法人　日本ゴム協会

Ⅰ．事業の状況

① 学術及び生産技術の研究及び調査(定款第6条第1号)

・ 2007年年次大会（第74回通常総会）

日時　平成19年5月17日（木）～18日（金）

場所　ウェルシティ長崎　　総会出席者数（委任状を含む）1,042名

研究発表57件（うち若手発表29件）登録者数178名

・ 第43回夏期講座

日時　平成19年7月12日（木）～13日（金）

場所　東京理科大学・森戸記念館　受講者数76名

・ 第19回エラストマー討論会

日時　平成19年12月6日（木）～7日（金）

場所　京大会館

研究発表61件（うち若手発表31件）登録者数153名

② 研究の奨励及び研究業績の表彰(定款第6条第2号)

・ 研究部会

各研究分科会において，定期的に研究会を開催し，最新の課題について調査・研究・討論を行った．また，分科会委員相互の研鑽と外部からの諮問に対応するため，合同研究分科会を開催した．

・ 顕彰関係

当該各委員会において各賞受賞者の選考と推薦を行った．

③ 講演会の開催（定款第6条第3号）

・ 研究分科会において得られた専門的成果に基づいて，会員ならびに一般ゴム科学技術者の研鑽に資するため，分科会主催のシンポジウム11回，講習会2回を開催した．

・ 2006年1月に刊行したゴム試験法（第3版）をわかりやすく解説するための講習会を九州地区において開催した．

④ 会誌及び図書の刊行（定款第6条第4号）

・ 日本ゴム協会誌の発行

平成19年において会員へのゴム技術情報提供及び学術推進のための機関誌「日本ゴム協会誌」第80巻12冊（特集号5冊，普通号7冊）を定期的に発行した．論文や総説等で488頁，会告で292頁，年間総頁数が780頁であった．

なお，発行において以下の企画を推進した．

(1) ゴム技術を中心に周辺技術やソフトマテリアル材料に関するタイムリーな情報を提供した．

(2) 会員啓蒙のため，一つのテーマについて，複数回にわたってより詳しく解説した「特論講座」を引続き連載した．

(3) 今日的なテーマ及びゴム固有のテーマ等で研究部会の協力も得て，特集を定期的に組んだ．

(4)「入門講座やさしいゴムの物理」の連載を継続した．

(5) わが国で編集発行するゴム技術論文誌として，高いレベルで審査，発行した．

(6) ゴム技術に関する豆知識を継続した．

(7) 年次大会及びエラストマー討論会の研究発表やIRC，IRCC，あるいはISO/TC45国際会議などの海外におけるソフトマテリアル関連の参加記を掲載し，会員への情報提供に努めた．

・ 出版関係

(1) 電子ジャーナル(e-Journal of Soft Materials)の更なる充実を図った．第3巻(2007年)は原著論文9報69頁であった．

(2) 2004年までの日本ゴム協会誌をJ-STAGEに電子公開した．

⑤ 見学及び視察（定款第6条第5号）

・ 国際交流

国際ゴム技術会議2007クリーブランド（IRC2007Cleveland 10月16日～18日）に日本ゴム協会代表として西敏夫元会長と五十野善信副会長を派遣した．

⑥ 会員の親睦（定款第6条第6号）

・ 会員増強及び会員移動

関係各位のご協力により入会の勧誘を行ったが，退会者数が入会者数を上回り正会員数は減少した．

・ 広報活動

日本語版ホームページの定期的なメンテナンスにより，会員及び会員外への最新情報を発信できる体制を強化した．また，海外に向けての英文ホームペ

ージの充実を図った.

⑦　関係官庁及び関係団体等の諮問に対する答申又は建議（定款第6条第7号）

・　主務官庁指示に関する事項（別紙1）

・　日本ゴム工業会ISO/TC45国内審議委員会のWG10（用語），WG16(環境側面)，SC1（ホース），SC2（物理・分析），SC3（原材料），SC4（免震，軟質フォームなどの製品）に対応する分科会メンバーとして参画し，年間に会合を，26回開催することにより，JIS及びISO規格の立案並びに改正案の作成を行った．JIS関係では，改正・制定のため９件の審議を行い原案を作成した.

・　10月にケニア（ナイロビ）で第55回ISO/TC45国際会議に，日本代表委員25名が参加した．日本からの提案・改正要求している案件の48件の多くが認められ，前に進めることができた.

⑧　その他目的を達成するために必要な事項（定款第6条第8号）

・　支部関連

(1) 会員増強運動

各支部における会員増強運動は，会員委員会の方針に則って各支部の実情を考慮して支部独自の考えで推進した.

(2) 支部の諸行事と活動状況

各支部では，毎月適切なテーマをとりあげて講演会，講習会，見学会，セミナー等を開催した．そのほか関東支部では（財）化学物質評価研究機構との共催により第38回初級ゴム技術研修会を開催した.

・　その他

(1) 組織委員会

定款・細則に対応する規定，内規（各委員会，研究部会等）の見直しを定期的に行った．活性化策として，支部，本部合同の活動として三大行事の活性化活動を展開中である.

・　外郭団体の活動

(1) ゴム技術フォーラム

月例会は，エネルギー問題，植物由来材料から先端材料まで，また，企業における新事業開発などゴム技術にとらわれず幅広い分野から講師を招聘し，講演会9回，大学・企業の分析研究所などの視察会3回を開催した．また，平成17年9月に発足した「ゴム・エラストマーと環境」調査委員会は，成書発行作業を行なうと共に，新たに「ゴム・エラストマーと未来の交通」に関する調査研究を平成19年9月に開始し，平成20年3月にはそれに関わる公開フォーラムを開催した.

⑦　主務官庁指示に関する事項（別紙1）

指示年月日	指示事項	履行状況
2007/4/17	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う感染症の病原体等の管理規制に関する説明会の開催について	
2007/4/25	新たな公益法人制度に関する情報提供について（情報提供）	
2007/5/8	貴学会における国際会議の開催状況について	2007/5/9 回答
2007/5/10	平成20年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候補者の推薦について（依頼）	
2007/6/15	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う感染症の病原体等の管理規制の周知について（通知）	
2007/8/31	学会法人の事業活動状況について	2007/9/3回答
2007/9/20	貴法人における国家公務員再就職者の在籍状況及び補助金の執行状況について	2007/9/21回答
2007/10/3	貴法人における国家公務員再就職者の在籍状況について	2007/10/4 回答
2007/10/9	平成19年度公益法人概況調査等の実施について（依頼）	2007/10/22回答
2007/12/14	国家公務員の再就職状況に関する予備的調査について（法人名）	前回と同様の回答につき回答不要 2008/1/21 回答
2008/1/17	病原性微生物等の保管・管理の徹底及び保有状況等の調査の実施について	
2008/1/11	平成19年9月11日実施検査の結果について(通知)	改善を要する事項については平成20年7月末までに改善
2008/1/22	病原体等の適正な取扱いについて（周知依頼）	
2008/1/22	農林水産大臣がその生産又は流通を所管する遺伝子組換え植物に係る第一種使用規程の承認の申請及び農林水産大臣が生産又は流通を所管する遺伝子組換え生ワクチンに係る第一種使用規程の承認の申請について（通知）	
2008/1/24	「科学技術の振興及び成果の社会への還元に向けた制度改革」のフォローアップについて	2008/1/28 回答
2008/2/18	平成18年度概況調査における内部留保額が30%超の理由並びに実地検査の改善状況等の提出依頼について	2008/3/4 回答

Ⅱ. 処務の概況

①　役員等に関する事項

(1)　理事・監事に関する事項

理事　定数：15名以上20名以内　現在：20名　任期：2年

監事　定数：3名　現在：3名　任期：2年

職名	常勤・非常勤	氏名	就任（重任）年月日	担当職務	報酬	現職
会長	非常勤	古川睦久	平成19年5月17日	法人総括	なし	長崎大学大学院 生産科学研究科教授
副会長	非常勤	五十野善信	平成19年5月17日	会長補佐	なし	長岡技術科学大学 工学部教授
副会長	非常勤	平田靖	平成19年5月17日	会長補佐	なし	㈱ブリヂストン 中央研究所長
副会長	非常勤	圓藤紀代司	平成19年5月17日	会長補佐	なし	大阪市立大学 工学部教授
副会長	非常勤	山田英介	平成19年5月17日	会長補佐	なし	愛知工業大学 工学部教授
理事	非常勤	伊藤眞義	平成19年5月17日	教育	なし	東京理科大学 理学部教授
理事	非常勤	加部和幸	平成19年5月17日	国際	なし	横浜ゴム㈱研究本部 構造力学研究室室長
理事	非常勤	北川裕一	平成19年5月17日	関東支部	なし	旭化成ケミカルズ㈱ 主席研究員
理事	非常勤	小松啓祐	平成19年5月17日	財務	なし	東京材料㈱ 技術品質部長
理事	非常勤	佐藤壽彌	平成19年5月17日	顕彰	なし	東京農工大学工学部 応用化学科大学院教授
理事	非常勤	住田雅夫	平成19年5月17日	顕彰	なし	東京工業大学大学院 理工学研究科教授
理事	非常勤	三島孝	平成19年5月17日	会員	なし	三井化学㈱ 名古屋支店長
理事	非常勤	奥淳一	平成19年5月17日	編集	なし	名古屋工業大学 大学院しくみ領域准教授
理事	非常勤	竹内勝政	平成19年5月17日	広報	なし	豊田合成㈱ 生産技術開発部部長
理事	非常勤	服部岩和	平成19年5月17日	東海支部	なし	ＪＳＲ㈱高分子研究所 主任研究員
理事	非常勤	池田能幸	平成19年5月17日	組織	なし	甲南大学 理工学部教授
理事	非常勤	大原利一郎	平成19年5月17日	顕彰	なし	東洋ゴム工業㈱ テックゴム材料技術部長
理事	非常勤	中村博信	平成19年5月17日	顕彰	なし	住友ゴム工業㈱ 執行役員
理事	非常勤	長谷川博一	平成19年5月17日	関西支部	なし	京都大学大学院 工学研究科准教授
理事	非常勤	森哲夫	平成19年5月17日	九州支部	なし	久留米工業高等専門学校 生物応用化学科教授
監事	非常勤	濱田裕	平成19年5月17日	監査	なし	浜田技術士事務所 所長
監事	非常勤	髙橋修一	平成19年5月17日	監査	なし	東海ゴム工業㈱ 執行役員
監事	非常勤	松木丈人	平成19年5月17日	監査	なし	住友ゴム工業㈱ 健康保険組合常務理事

(2) 評議員会に関する事項

定数：40名以上80名以内　現在：73名　任期：2年

氏名	就任年月日	重任年月日	所属
青山英雄	H.11.5.20	H.19.5.17	東京ファブリック化成㈱
浅田泰司	H.5.5.20	〃	岸本産業㈱
石川泰弘	H.17.5.19	〃	横浜ゴム㈱
市川龍夫	H.3.5.23	〃	元・ＪＳＲ㈱
井上隆	H.19.5.17	－	山形大学
及川洋二	H.17.5.19	H.19.5.17	鬼怒川ゴム工業㈱
大石不二夫	S.63.5.16	〃	神奈川大学
大内康平	H.6.5.19	〃	大内新興化学工業㈱
大橋守昭	H.15.5.15	〃	日本ゴム工業会
奥山通夫	H.13.5.17	〃	元・㈱ブリヂストン
小合佳正	H.19.5.17	－	三井化学㈱
小野勝道	H.15.5.15	H.19.5.17	元・茨城大学
加藤政雄	H.15.5.15	〃	東京理科大学
川崎俊之	H.19.5.17	－	旭化成ケミカルズ㈱
木村都威	S.63.5.16	H.19.5.17	元・㈱リコー
久保田光昭	H.19.5.17	－	精工化学㈱
関和彦	H.17.5.19	H.19.5.17	ＮＯＫ㈱
徳田隆	H.12.5.18	〃	元・北辰工業㈱
西敏夫	H.9.5.15	〃	東京工業大学
橋本欣郎	H.13.5.17	〃	㈱イワカミ
平川弘	H.9.5.15	〃	元・横浜ゴム㈱
深堀美英	H.11.5.20	〃	ロンドン大学
伏見好正	H.19.5.17	－	日本ゼオン㈱
古浜暉英	H.10.5.21	H.19.5.17	元・横浜ゴム㈱
前田守一	H.2.5.17	〃	元・㈱金陽社
増永幹夫	H.17.5.19	〃	㈱ブリヂストン
松原光一	H.2.5.17	〃	元・㈱荒井製作所
水本清文	H.11.5.20	〃	㈱永島パッキング製作所
山田吉隆	H.2.5.17	〃	川口化学工業㈱
吉田淑則	H.6.5.19	〃	ＪＳＲ㈱
吉村信哉	H.2.5.17	〃	元・㈱ブリヂストン
吉本敏雄	H.3.5.23	H.19.5.17	元・㈱ブリヂストン
伊藤耕司	H.19.5.17	－	㈱イノアックコーポレーション
伊藤俊和	H.12.5.18	H.19.5.17	東海興業㈱
稲垣愼二	H.13.5.17	〃	愛知工業大学
稲葉弘	H.15.5.15	〃	東新ゴム化学㈱
内山吉隆	H.15.5.15	〃	元・金沢大学
米屋正弘	H.17.5.19	〃	北星ゴム工業㈱
佐野建志	H.17.5.19	〃	日東電工㈱
竹村泰彦	H.15.5.15	〃	元・ＪＳＲ㈱
中野哲	H.17.5.19	〃	クレハエラストマー㈱
長谷川久夫	H.19.5.17	－	ＪＳＲ㈱
藤原信夫	H.19.5.17	－	豊田合成㈱
宮田亮	H.13.5.17	H.19.5.17	東海ゴム工業㈱
石割和夫	H.10.5.21	〃	ダイキン工業㈱
上田善晴	H.19.5.17	－	大内新興化学工業㈱
浦上和人	H.17.5.19	H.19.5.17	早川ゴム㈱
加貫順三	H.17.5.19	〃	㈱加貫ローラ製作所
鞠谷信三	H.11.5.20	〃	マヒドン大学
坂根一晴	H.19.5.17	－	㈱十川ゴム
佐藤隆夫	H.15.5.15	H.19.5.17	ニッタ㈱
塩山務	H.15.5.15	〃	バンドー化学㈱
柴田達三	H.12.5.18	〃	シバタ工業㈱
白石恒裕	H.13.5.17	〃	白石工業㈱
高杉雅信	H.17.5.19	〃	西川ゴム工業㈱
滝野寛志	H.13.5.17	〃	東洋ゴム工業㈱
谷口政晴	H.17.5.19	〃	㈱共和
田丸知宏	H.17.5.19	〃	広島化成㈱
中野好夫	H.19.5.17	－	㈱ニチリン
中嶋正仁	H.13.5.17	H.19.5.17	三ツ星ベルト㈱
中村明比古	H.12.5.18	〃	住友ゴム工業㈱
橋本明	H.15.5.15	〃	ダイソー㈱
増井和廣	H.12.5.18	〃	内外ゴム㈱
丸山一郎	H.19.5.17	－	住友電気工業㈱
宮崎昭二	H.19.5.17	－	㈱タケチ
水内淳一	H.17.5.19	H.19.5.17	㈱水内ゴム
山口幸一	H.17.5.19	〃	関西ゴム技術研修所
大坪弘文	H.12.5.18	〃	元・㈱アサヒコーポレーション
牛島直	H.19.5.17	－	㈱ブリヂストン
佐藤保	H.17.5.19	H.19.5.17	東ソー㈱
藤道治	H.15.5.15	〃	㈱久留米リサーチ・パーク
山村博喜	H.19.5.17	－	㈱ムーンスター
横山哲夫	H.11.5.20	H.19.5.17	玉木女子短期大学

＊所属は就任（重任）時のもの

② 職員に関する事項

職名	常勤・非常勤	人数	無給者	他機関との専任者
事務局長	常勤	1	0	0
職員	常勤	4	0	0

③　会議等に関する事項

(1)　理事会

開催年月日	議　事　事　項	会議の結果
H.19. 4.19	**平成19年度第１回理事会**	
	(1)平成18年度事業報告に関する件	承認
	(2)平成18年度収支計算報告の件	承認
	(3)2007年年次大会および第74回通常総会の件	承認
H.19. 5.16	**平成19年度第2回理事会**	
	(1)平成18年度事業報告承認の件	承認
	(2)平成18年度収支計算報告の件	承認
	(3)平成19年度事業計画と予算確認の件	承認
H.19. 7.20	**平成19年度第３回理事会**	
	(1)平成19年度組織・運営方針の件	承認
	(2)出版・会誌部門の活動状況の件	承認
	(3)各委員会の実施計画説明の件	承認
	(4)各支部事業計画および予算の件	承認
H.19.10.23	**平成19年度第４回理事会**	
	(1)本部・財務部門の報告の件	承認
	(2)会員・組織委員会の活動の件	承認
	(3)研究部会・標準化部会活動の件	承認
	(4)国際部門の活動の件	承認
H.20. 1.17	**平成19年度第５回理事会**	
	(1)12月収支決算報告の件	承認
	(2)平成19年度事業報告の件	承認
	(3)平成20年度事業計画・予算（案）の件	承認
	(4)創立80周年記念年次大会（2008）（第75回通常総会）開催の件	承認
H.20. 3.13	**平成19年度第６回理事会**	
	(1)平成19年度事業報告の件	承認
	(2)平成20年度事業計画・予算（2次案）の件	承認
	(3)創立80周年記念年次大会（2008）（第75回通常総会）開催の件	承認
	(4)各賞受賞候補者推薦の件	承認

(2)　評議員会

開催年月日	議　事　事　項	会議の結果
H.19. 5.16	**平成19年度第１回評議員会**	
	(1)平成18年度事業報告に関する件	承認
	(2)平成18年度収支計算報告の件	承認
	(3)平成19年度事業計画と予算確認の件	承認
	(5)2007年年次大会および第74回通常総会の件	承認
H.20. 1.17	**平成19年度第2回評議員会**	
	(1)平成19年度事業報告承認の件	承認
	(2)平成20年度事業計画・予算（案）の件	承認
	(3)創立80周年記念年次大会（2008）（第75回通常総会）開催の件	承認
H.20. 3.13	**平成19年度第3回評議員会**	
	(1)平成19年度事業報告承認の件	承認
	(2)平成20年度事業計画・予算（2次案）の件	承認

(3)　通常総会

開催年月日	議　事　事　項	会議の結果
H.19. 5.17	(1)平成18年度事業報告承認の件	全会一致にて承認
	(2)平成18年度収支決算承認の件	全会一致にて承認
	(3)平成19年度事業計画承認の件	全会一致にて承認
	(4)平成19年度収支予算承認の件	全会一致にて承認
	(5)平成19・20年度役員選任の件	全会一致にて承認
	(6)平成19・20年度評議員選挙結果報告の件	全会一致にて承認
	(7)平成19・20年度支部役員指名の件	全会一致にて承認

④　認可，承認，証明に関する事項　　該当なし

⑤　契約に関する事項　　〃

⑥　寄付金に関する事項　　〃

⑦　主務官庁の指示に関する事項　　別紙

⑧　その他の重要事項　　〃

⑨　会員の異動状況（下表の通り）　　該当あり

社員・会員別入退会表

会員別		前年度末	本年度入会	本年度退会	現会員数	増　減
正会員　(内　海外)		2,025(26)	193	231	1,987(26)	△38
学生会員		52	21	15	58	6
名誉会員		14	2	1	15	1
賛助会員	社数(内　海外)	380(1)	17	11	386(1)	6
	口数(内　海外)	759(1)	17	21	755(1)	△ 4
計		2,471	233	258	2,446	△25

平成19年度収支決算報告

（平成19年４月１日から平成20年３月31日まで）

社団法人　日本ゴム協会

貸借対照表（一般会計）

（平成20年３月31日現在）

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	101,911,244	99,061,475	2,849,769
仮払金	9,093,163	10,417,572	△ 1,324,409
未収入金	1,890,000	2,001,300	△ 111,300
流動資産合計	112,894,407	111,480,347	1,414,060
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2) その他固定資産			
事務所保証金	1,200,000	1,200,000	0
その他の固定資産合計	1,200,000	1,200,000	0
固定資産合計	6,200,000	6,200,000	0
資産合計	119,094,407	117,680,347	1,414,060
Ⅱ　負債の部			
1. 流動負債			
仮受金	4,082,675	3,865,217	217,458
未払金	1,220,510	1,587,530	△ 367,020
会費前受金	17,501,972	17,975,125	△ 473,153
流動負債合計	22,805,157	23,427,872	△ 622,715
負債合計	22,805,157	23,427,872	△ 622,715
Ⅲ　正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	96,289,250	94,252,475	2,036,775
正味財産合計	96,289,250	94,252,475	2,036,775
負債および正味財産合計	119,094,407	117,680,347	1,414,060

正味財産増減計算書（一般会計）

（平成19年４月１日から平成20年３月31日まで）

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	12,500	0	12,500
基本財産運用益	12,500	0	12,500
受取会費	44,702,375	44,933,635	△ 231,260
入会金収入	102,000	93,500	8,500
賛助会費収入	26,299,100	26,297,100	2,000
正会費収入	18,052,600	18,329,110	△ 276,510
学生会費収入	248,675	213,925	34,750
事業収益	33,623,206	36,280,968	△ 2,657,762
広告料収入	12,255,600	12,163,200	92,400
会員外購読料収入	1,475,050	1,539,230	△ 64,180
バックナンバー収入	77,371	249,823	△ 172,452
本部行事収入	5,545,630	5,652,050	△ 106,420
研究部会収入	13,153,355	11,355,075	1,798,280
標準化部会収入	676,200	4,861,590	△ 4,185,390
寄付金収入	440,000	460,000	△ 20,000
雑収益	359,801	246,904	112,897
雑収入	359,801	246,904	112,897
経常収益計	78,697,882	81,461,507	△ 2,763,625
(2) 経常費用			
事業費	53,208,993	52,632,539	576,454
会議費支出	493,484	672,551	△ 179,067
表彰費支出	411,111	434,000	△ 22,889
普及費支出	2,120,648	2,252,427	△ 131,779
旅費交通費支出	857,210	1,149,678	△ 292,468
通信費支出	1,046,519	1,034,551	11,968
印刷費支出	638,820	263,430	375,390
支部費支出	1,558,200	1,605,800	△ 47,600
本部行事費支出	3,808,344	3,661,312	147,032
雑誌費支出	13,124,090	13,031,810	92,280
研究部会費支出	9,091,266	8,145,632	945,634
標準化部会費支出	674,170	3,840,918	△ 3,166,748
人件費支出	18,785,131	15,940,430	2,844,701
国際交流費支出	600,000	600,000	0
管理費	22,484,425	24,642,709	△ 2,158,284
会議費支出	274,227	297,131	△ 22,904
旅費交通費支出	1,429,290	1,348,996	80,294
通信費支出	316,753	451,475	△ 134,722
消耗品費支出	249,120	392,129	△ 143,009
事務所費支出	4,112,385	4,146,332	△ 33,947
事務費支出	1,845,813	3,859,321	△ 2,013,508
雑支出	454,396	474,744	△ 20,348
人件費支出	12,721,801	12,544,829	176,972
公租公課支出	1,080,640	1,127,752	△ 47,112
経常費用計	75,693,418	77,275,248	△ 1,581,830
当期経常増減額	3,004,464	4,186,259	△ 1,181,795
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,004,464	4,186,259	△ 1,181,795
一般正味財産期首残高	93,284,786	89,098,527	4,186,259
一般正味財産期末残高	96,289,250	93,284,786	3,004,464
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	96,289,250	93,284,786	3,004,464

財産目録（一般会計）

（平成20年３月31日現在）

（単位：円）

科　　目	金　　額
Ⅰ　資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	101,911,244
現金手許有高	641,320
定期預金	54,193,716
みずほ銀行	9,030,542
三井住友銀行	9,038,989
三井住友銀行(協会賞基金・有功賞基金・奨励賞基金・OR賞基金・記念事業基金)	12,919,485
三井住友銀行(国際会議基金)	20,159,852
三井住友銀行(国際交流基金)	3,044,848
普通預金	18,896,085
みずほ銀行	3,372,274
三井住友銀行	5,565,207
三井住友銀行(協会賞基金・有功賞基金・奨励賞基金・OR賞基金・記念事業基金)	5,886,879
三井住友銀行(国際会議基金)	726,171
三井住友銀行(国際交流基金)	1,801,455
三菱東京UFJ銀行本店	1,544,099

振替貯金	419,529		
郵便貯金	10,018,644		
退職引当預金(三井住友銀行)	17,741,950		
仮払金(出版部他)	9,093,163		
未収入金(協会誌広告料)	1,890,000		
流動資産合計		112,894,407	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当預金(三菱東京UFJ銀行)	5,000,000		
基本財産合計	5,000,000		
(2) その他固定資産			
事務所保証金(東部建物)	1,200,000		
その他固定資産合計	1,200,000		
固定資産合計		6,200,000	
資産合計			119,094,407
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
仮受金(社会保険・源泉税・住民税他)	4,082,675		
未払金(協会誌印刷費)	1,220,510		
会費前受金(正会費・賛助会費・学生会費)	17,501,972		
流動負債合計		22,805,157	
負債合計			22,805,157
正味財産			96,289,250

財務諸表に対する注記

1　重要な会計方針

(1)　有価証券の評価基準および評価方法

現在，有価証券は保有しておりません.

(2)　固定資産の減価償却

現在，減価償却の対象となる固定資産は保有しておりません.

(3)　消費税の会計処理

税込み方式を採用しております.

(4)　引当金の計上基準について

退職給与引当金…退職給与引当金については，退職金規定に基づき期末要支給額の100%を計上しております.

2　基本財産の増減額およびその残高は、次のとおりである.

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	5,000,000	－	－	5,000,000
合計(基本金)	5,000,000	－	－	5,000,000

3　担保に供している資産

該当はありません.

4　保証債務

該当はありません.

貸借対照表(収益事業)

(平成20年３月31日現在)

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,381,079	3,187,849	193,230
貯蔵品	7,779,448	9,127,903	△ 1,348,455
流動資産合計	11,160,527	12,315,752	△ 1,155,225
資産合計	11,160,527	12,315,752	△ 1,155,225
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,939,445	8,424,406	△ 1,484,961
流動負債合計	6,939,445	8,424,406	△ 1,484,961
負債合計	6,939,445	8,424,406	△ 1,484,961
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	4,221,082	3,891,346	329,736
正味財産合計	4,221,082	3,891,346	329,736
負債および正味財産合計	11,160,527	12,315,752	△ 1,155,225

正味財産増減計算書(収益事業)

(平成19年４月１日から平成20年３月31日まで)

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	5,250,318	9,485,659	△ 4,544,841
出版物収入	3,849,068	8,393,909	△ 4,544,841
印税収入	801,250	491,750	309,500
業務受託収入	600,000	600,000	0
雑収益	747,848	808,434	△ 60,586
雑収入	747,848	808,434	△ 60,586
経常収益計	5,998,166	10,294,093	△ 4,295,927
(2) 経常費用			
事業費	5,668,430	11,386,956	△ 5,718,526
出版費支出	1,345,768	1,506,057	△ 160,289
貯蔵品減少費支出	1,348,455	4,574,512	△ 3,226,057
書籍購入費支出	606,375	808,500	△ 202,125
人件費支出	2,297,307	4,447,402	△ 2,150,095
雑支出	70,525	50,485	20,040
経常費用計	5,668,430	11,386,956	△ 5,718,526
当期経常増減額	329,736	△ 1,092,863	1,422,599
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	329,736	△ 1,092,863	1,422,599
一般正味財産期首残高	3,891,346	4,984,209	△ 1,092,863
一般正味財産期末残高	4,221,082	3,891,346	329,736
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	4,221,082	3,891,346	329,736

財産目録(収益事業)

(平成20年３月31日現在)

(単位：円)

科目	金額
Ⅰ 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	3,381,079
現金手許有高	65,069
普通預金(三井住友銀行)	3,316,010
貯蔵品	7,779,448

流動資産合計		11,160,527	
資産合計			11,160,527
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金(一般会計)	6,939,445		
流動負債合計		6,939,445	
負債合計			6,939,445
正味財産			4,221,082

財務諸表に対する注記

1　重要な会計方針

(1)　有価証券の評価基準および評価方法

現在，有価証券は保有しておりません.

(2)　固定資産の減価償却

現在，減価償却の対象となる固定資産は保有しておりません.

(3)　消費税の会計処理

税込み方式を採用しております.

(4)　貯蔵品

貯蔵品の評価方法は個別法です.

(5)　未払金

一般会計に対する未払金です.

2　担保に供している資産

該当はありません.

3　保証債務

該当はありません.

貸借対照表(総括表)

(平成20年３月31日現在)

(単位：円)

科　　目	一般会計	収益事業	内部取引消去	合　計
Ⅰ 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	101,911,244	3,381,079		105,292,323
仮払金	9,093,163	0	6,939,445	2,153,718
未収入金	1,890,000	0		1,890,000
貯蔵品	0	7,779,448		7,779,448
流動資産合計	112,894,407	11,160,527	6,939,445	117,115,489
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産引当預金	5,000,000	0		5,000,000
基本財産合計	5,000,000	0		5,000,000
(2) その他固定資産				
事務所保証金	1,200,000	0		1,200,000
その他の固定資産合計	1,200,000	0		1,200,000
固定資産合計	6,200,000	0		6,200,000
資産合計	119,094,407	11,160,527	6,939,445	123,315,489
Ⅱ 負債の部				
1. 流動負債				
仮受金	4,082,675	0		4,082,675
未払金	1,220,510	6,939,445	6,939,445	1,220,510
会費前受金	17,501,972	0		17,501,972
流動負債合計	22,805,157	6,939,445	6,939,445	22,805,157
負債合計	22,805,157	6,939,445	6,939,445	22,805,157
Ⅲ 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
指定正味財産合計	0	0		0
2. 一般正味財産	96,289,250	4,221,082		100,510,332
正味財産合計	96,289,250	4,221,082		100,510,332
負債および正味財産合計	119,094,407	11,160,527	6,939,445	123,315,489

正味財産増減計算書(総括表)

(平成19年４月１日から平成20年３月31日まで)

(単位：円)

科　　目	一般会計	収益事業	内部取引消去	合　計
Ⅰ 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	12,500	0		12,500
受取会費	44,702,375	0		44,702,375
事業収益	33,623,206	5,250,318		38,873,524
雑収益	359,801	747,848		1,107,649
経常収益計	78,697,882	5,998,166		84,696,048
(2) 経常費用				
事業費	53,208,993	5,668,430		58,877,423
管理費	22,484,425	0		22,484,425
経常費用計	75,693,418	5,668,430		81,361,848
当期経常増減額	3,004,464	329,736		3,334,200
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	3,004,464	329,736		3,004,464
一般正味財産期首残高	93,284,786	3,891,346		97,176,132
一般正味財産期末残高	96,289,250	4,221,082		100,510,332
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0		0
Ⅲ 正味財産期末残高	96,289,250	4,221,082		100,510,332

財産目録(総括表)

(平成20年３月31日現在)

(単位：円)

科　　目	一般会計	収益事業	内部取引消去	合　計
Ⅰ 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	101,911,244	3,381,079		105,292,323
現金手許有高	641,320	65,069		706,389
定期預金	54,193,716	0		54,193,716
みずほ銀行	9,030,542	0		9,030,542
三井住友銀行	9,038,989	0		9,038,989
三井住友銀行(協会賞基金・有功賞基金・奨励賞基金・OR賞基金・記念事業基金)	12,919,485	0		12,919,485
三井住友銀行(国際会議基金)	20,159,852	0		20,159,852
三井住友銀行(国際交流基金)	3,044,848	0		3,044,848
普通預金	18,896,085	0		18,896,085
みずほ銀行	3,372,274	0		3,372,274
三井住友銀行	5,565,207	3,316,010		8,881,217
三井住友銀行(協会賞基金・有功賞基金・奨励賞基金・OR賞基金・記念事業基金)	5,886,879	0		5,886,879
				0
三井住友銀行(国際会議基金)	726,171	0		726,171
三井住友銀行(国際交流基金)	1,801,455	0		1,801,455
三菱東京UFJ銀行本店	1,544,099	0		1,544,099
振替貯金	419,529	0		419,529
郵便貯金	10,018,644	0		10,018,644
退職引当預金(三井住友銀行)	17,741,950	0		17,741,950
仮払金(出版部他)	9,093,163	0	6,939,445	2,153,718
未収入金(協会誌広告料)	1,890,000	0		1,890,000
貯蔵品	0	7,779,448		7,779,448
流動資産合計	112,894,407	11,160,527	6,939,445	117,115,489
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産引当預金(三菱東京UFJ銀行)	5,000,000	0		5,000,000
基本財産合計	5,000,000	0		5,000,000
(2) その他固定資産				
事務所保証金(東部建物)	1,200,000	0		1,200,000
その他固定資産合計	1,200,000	0		1,200,000
固定資産合計	6,200,000	0		6,200,000
資産合計	119,094,407	11,160,527	6,939,445	123,315,489
Ⅱ 負債の部				
1. 流動負債				
仮受金(社会保険・源泉税・住民税他)	4,082,675	0		4,082,675
未払金	1,220,510	6,939,445	6,939,445	1,220,510
会費前受金(正会費・賛助会費・学生会費)	17,501,972	0		17,501,972
流動負債合計	22,805,157	6,939,445	6,939,445	22,805,157
負債合計	22,805,157	6,939,445	6,939,445	22,805,157
正味財産	96,289,250	4,221,082		100,510,332

収支計算書（一般会計）

（平成19年４月１日から平成20年３月31日まで）

（単位：円）

科　目	予算額	決算額	差　異	備　考
Ⅰ．事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	12,000	12,500	△ 500	
基本財産運用収入	12,000	12,500	△ 500	
② 入会金収入	50,000	102,000	△ 52,000	
入会金収入	50,000	102,000	△ 52,000	
③ 会費収入	44,465,000	44,600,375	△ 135,375	
賛助会費収入	26,425,000	26,299,100	125,900	
正会費収入	17,802,000	18,052,600	△ 250,600	
学生会費収入	238,000	248,675	△ 10,675	
④ 事業収入	29,390,000	33,183,206	△ 3,793,206	
広告料収入	11,970,000	12,255,600	△ 285,600	
会員外購読料収入	1,500,000	1,475,050	24,950	
ﾊﾞｯｸﾅﾝﾊﾞｰ収入	100,000	77,371	22,629	
本部行事収入	4,320,000	5,545,630	△ 1,225,630	
年次大会収入	1,350,000	1,809,180	△ 459,180	
夏期講座収入	1,720,000	2,213,050	△ 493,050	
討論会収入	1,250,000	1,523,400	△ 273,400	
研究部会収入	11,500,000	13,153,355	△ 1,653,355	
委員参加収入	2,500,000	2,627,100	△ 127,100	
行事収入	9,000,000	10,526,255	△ 1,526,255	
標準化部会収入	0	676,200	△ 676,200	
講習会収入	0	676,200	△ 676,200	
⑤ 寄付金収入	720,000	440,000	280,000	
⑥ 雑収入	88,000	359,801	△ 271,801	
事業活動収入計	74,725,000	78,697,882	△ 3,972,882	
2 事業活動支出				
① 事業費支出	50,580,000	53,208,993	△ 2,628,993	
会議費支出	700,000	493,484	206,516	
表彰費支出	700,000	411,111	288,889	
普及費支出	2,000,000	2,120,648	△ 120,648	
旅費交通費支出	900,000	857,210	42,790	
通信費支出	900,000	1,046,519	△ 146,519	
印刷費支出	300,000	638,820	△ 338,820	
支部費支出	1,580,000	1,558,200	21,800	
本部行事費支出	3,500,000	3,808,344	△ 308,344	
年次大会費支出	1,200,000	1,724,635	△ 524,635	
夏期講座費支出	1,200,000	688,982	511,018	
討論会費支出	1,100,000	1,394,727	△ 294,727	
雑誌費支出	12,700,000	13,124,090	△ 424,090	
編集費支出	1,800,000	2,213,574	△ 413,574	
印刷製本費支出	7,500,000	7,592,780	△ 92,780	
発送費支出	2,500,000	2,339,736	160,264	
原稿料支出	900,000	978,000	△ 78,000	
研究部会費支出	9,000,000	9,091,266	△ 91,266	
会議費支出	3,500,000	3,314,682	185,318	
行事費支出	5,500,000	5,776,584	△ 276,584	
標準化部会費支出	0	674,170	△ 674,170	
講習会費支出	0	674,170	△ 674,170	
人件費支出	17,700,000	18,785,131	△ 1,085,131	
給料手当支出	15,800,000	16,748,186	△ 948,186	
福利厚生費支出	1,900,000	2,036,945	△ 136,945	
国際交流費支出	600,000	600,000	0	
② 管理費支出	23,820,000	22,484,425	1,335,575	
会議費支出	300,000	274,227	25,773	
旅費交通費支出	1,000,000	1,429,290	△ 429,290	
通信費支出	500,000	316,753	183,247	
消耗品費支出	350,000	249,120	100,880	
事務所費支出	4,400,000	4,112,385	287,615	
事務費支出	2,700,000	1,845,813	854,187	
雑支出	500,000	454,396	45,604	
人件費支出	13,070,000	12,721,801	348,199	
給料手当支出	9,700,000	9,622,550	77,450	
福利厚生費支出	1,900,000	1,593,012	306,988	
通勤費支出	800,000	836,810	△ 36,810	
中退掛金支出	670,000	669,429	571	
公租公課支出	1,000,000	1,080,640	△ 80,640	
事業活動支出計	74,400,000	75,693,418	△ 1,293,418	
事業活動収支差額	325,000	3,004,464	△ 2,679,464	
Ⅱ．投資活動収支の部				
1 投資活動収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2 投資活動支出				
記念行事基金支出	5,000,000	5,000,000	0	
投資活動支出計	5,000,000	5,000,000	0	
投資活動収支差額	△ 5,000,000	△ 5,000,000	0	
Ⅲ．財務活動収支の部				
1 財務活動収入	0	0	0	
2 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ．予備費支出	325,000	0	325,000	
当期収支差額	△ 5,000,000	△ 1,995,536	△ 3,004,464	
前期繰越収支差額	16,986,240	16,986,240	0	
次期繰越収支差額	11,986,240	14,990,704	△ 3,004,464	

（注）1．収支計算書の当年度予算額は「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に示された3区分の様式により作成している。
2．借入金限度額　0円
3．債務負担額　なし

収支計算書に対する注記

1．資金の範囲

資金の範囲には，現金預金および短期金銭債権債務を含めております．

なお，資金の前期および当期末の残高は，下記２．に記載するとおりです．

2．次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

（単位:円）

科　目	前期末残高	当期末残高
現金預金	104,061,475	106,911,244
仮払金	10,417,572	9,093,163
未収入金	2,001,300	1,890,000
事務所保証金	1,200,000	1,200,000
合計	117,680,347	119,094,407
仮受金	3,865,217	4,082,675
未払金	1,587,530	1,220,510
会費前受金	17,975,125	17,501,972
退職引当預金	17,695,468	17,741,950
基本金	5,000,000	5,000,000
基金	40,773,109	44,538,690
繰越金振替分	13,797,658	14,017,906
合計	100,694,107	104,103,703
次期繰越収支差額	16,986,240	14,990,704

3　予算と決算の乖離の説明

＊1　本部行事収入はすべての行事とも予定を上回る参加者となった．

＊2　標準化部会収入（支出）は計画外の講習会を開催のため，収入（支出）があった．

収支計算書（収益事業）

（平成19年４月１日から平成20年３月31日まで）

（単位：円）

科　目	予算額	決算額	差　異	備　考
Ⅰ．事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 事業収入	5,900,000	5,250,318	649,682	
出版物収入	4,800,000	3,849,068	950,932	
ゴム技術基礎収入	1,580,000	1,869,016	△ 289,016	
ゴム試験法収入	1,510,000	605,250	904,750	
ゴム工業便覧収入	660,000	470,571	189,429	
ゴム用語辞典収入	350,000	267,538	82,462	
ゴム技術入門収入	700,000	636,693	63,307	
広告料収入	0	0	0	
印税収入	500,000	801,250	△ 301,250	
業務受託収入	600,000	600,000	0	
② 雑収入	800,000	747,848	52,152	
事業活動収入計	6,700,000	5,998,166	701,834	
2 事業活動支出				
① 事業費支出	6,670,000	5,668,430	1,001,570	

出版費支出	1,280,000	1,345,768	△ 65,768	
印刷費支出	400,000	392,705	7,295	
会議費支出	100,000	87,745	12,255	
通信費支出	50,000	35,194	14,806	
事務所費支出	300,000	423,620	△ 123,620	
消耗品費支出	30,000	27,679	2,321	
発送費支出	100,000	64,697	35,303	
旅費交通費支出	100,000	216,980	△ 116,980	
事務費支出	200,000	97,148	102,852	
貯蔵品減少費支出	0	1,348,455	△ 1,348,455	
書籍購入費支出	410,000	606,375	△ 196,375	
人件費支出	4,910,000	2,297,307	2,612,693	
給料手当支出	4,100,000	1,969,300	2,130,700	
福利厚生費支出	600,000	223,267	376,733	
通勤費支出	210,000	104,740	105,260	
雑支出	70,000	70,525	△ 525	
事業活動支出計	6,670,000	5,668,430	1,001,570	
事業活動収支差額	30,000	329,736	△ 299,736	
Ⅱ. 投資活動収支の部				
1 投資活動収入	0	0	0	
2 投資活動支出	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ. 財務活動収支の部				
1 財務活動収入	0	0	0	
2 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ. 予備費支出	30,000	0	30,000	
当期収支差額	0	329,736	△ 329,736	
前期繰越収支差額	3,891,346	3,891,346	0	
次期繰越収支差額	3,891,346	4,221,082	△ 329,736	

(注) 1. 収支計算書の当年度予算額は「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に示された3区分の様式により作成している。
2. 借入金限度額 0円
3. 債務負担額 なし

収支計算書総括表

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位：円)

科　目	一般会計	収益事業	内部取引消去	合　計
Ⅰ. 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
基本財産運用収入	12,500	0		12,500
入会金収入	102,000	0		102,000
会費収入	44,600,375	0		44,600,375
事業収入	33,183,206	5,250,318		38,433,524
寄付金収入	440,000	0		440,000
雑収入	359,801	747,848		1,107,649
事業活動収入計	78,697,882	5,998,166		84,696,048
2 事業活動支出				
事業費支出	53,208,993	5,668,430		58,877,423
管理費支出	22,484,425	0		22,484,425
事業活動支出計	75,693,418	5,668,430		81,361,848
事業活動収支差額	3,004,464	329,736		3,334,200
Ⅱ. 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0		0
2 投資活動支出				
記念行事基金支出	5,000,000	0		5,000,000
投資活動支出計	5,000,000	0		5,000,000
投資活動収支差額	△ 5,000,000	0		△ 5,000,000
Ⅲ. 財務活動収支の部				
1 財務活動収入	0	0		0
2 財務活動支出	0	0		0
財務活動収支差額	0	0		0
当期収支差額	△ 1,995,536	329,736		△ 1,665,800
前期繰越収支差額	16,986,240	3,891,346		20,877,586
次期繰越収支差額	14,990,704	4,221,082		19,211,786

収支計算書に対する注記

1．資金の範囲

資金の範囲には，現金預金および短期金銭債権債務を含めております．

なお，資金の前期および当期末の残高は，下記2．に記載するとおりです．

2．次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

(単位:円)

科　目	前期末残高	当期末残高
現金預金	3,187,849	3,381,079
貯蔵品	9,127,903	7,779,448
合計	12,315,752	11,160,527
未払金	8,424,406	6,939,445
合計	8,424,406	6,939,445
次期繰越収支差額	3,891,346	4,221,082

3　予算と決算の乖離の説明

＊1　出版物の販売が予算を下回る結果となった．

＊2　貯蔵品は追加購入も販売分のみとしたため，貯蔵品が減少した．

平成20年度活動方針

社団法人　日本ゴム協会

ゴム・エラストマー・ソフトマテリアルに関する基礎・応用研究およびナノテクノロジーなど先端技術の推進をはかり，その成果・情報を広く会員に伝達することによって会員の学識向上に資するとともに，広く一般に情報を発信し，ゴム産業の発展ならびにゴム科学技術の進歩と発展に寄与する．

これらの目標に沿って，本協会では下記の業務を分担して遂行する．また，各部門の効率化をはかるとともに，会員数の増加に向けて，会員に役立つ協会活動を推進する．

(1) 本　部：事務局，各支部，各部会および各部門を統括し，円滑な運営・活動にあたるとともに財務の健全化をはかる．

(2) 支　部：会員のための地域的活動を強力に推進するとともに，本部との緊密な連携によって三大行事の開催に協力する．

(3) 行事部門：年次大会，エラストマー討論会および夏期講座の内容充実をはかり，会員相互の親睦と学識向上に資する．

(4) 出版・会誌部門：協会誌の内容を広くゴム関連技術の基礎から応用まで，また設計・生産技術にまで拡大して多様な専門分野の会員の関心に応えるとともに，学術論文誌として一層の充実をe-Journal of Soft Materialsとともにはかる．

(5) 研究部会：ニーズに適合した研究分科会活動を活発に行うとともに，各専門分野に関するシンポジウム，講習会などを通じて会員の研鑽に資する．

(6) 標準化部会：日本ゴム工業会ISO/TC45国内審議委員会に対応する分科会メンバーとしてJIS および ISO規格の立案ならびに改正案を作成．

(7) 国際部門：国内外で開催されるゴム関係国際会議の窓口機能を果たすとともに，アジア諸国をはじめとする各国との学術および技術交流の強化に努める．

(8) 顕彰部門：ゴム科学と技術の発展に寄与した候補者選定を厳正に行い，顕彰することによりゴム技術の普及と発展に資する．

日本ゴム協会三大行事開催の予定

	H. 20 2008	H. 21 2009	H. 22 2010	H. 23 2011	H. 24 2012	H. 25 2013
年次大会	関　東	関　西	東　海	関　東	関　西	東　海
夏期講座	関　西	東　海	関　東	関　西	東　海	関　東
ｴﾗｽﾄﾏｰ討論会	東　海	関　東	関　西	九　州	関　東	関　西

平成20年度事業計画

（平成20年4月１日から平成21年3月31日まで）

社団法人　日本ゴム協会

① 学術及び生産技術の研究及び調査（定款第6条第1号）

・ 2008年年次大会（第75回通常総会）を創立80周年記念年次大会として下記のとおり開催する．

日時　平成20年5月21日（水）～22日（木）

場所　はあといん乃木坂　　参加予定者　300名

・ 第44回夏期講座を下記のとおり開催する．

日時　平成20年7月10日（木）～11日（金）

場所　奈良・猿沢荘　　参加予定者　70名

・ 第20回エラストマー討論会を下記のとおり開催する．

日時　平成20年12月2日（火）～3日（水）

場所　名古屋国際会議場　　参加予定者　150名

・ 研究部会ではゴム・ソフトマテリアルとその周辺科学をより深く追求し，その成果を会員ならびに社会に還元する．

⑴ 広くゴム及びその周辺科学に関連する先端基礎科学，材料特性，設計，生産及び評価の先端技術について調査研究を行い，その成果を我が国ゴム産業の発展に役立てることを目的とする．

⑵ 各研究分科会において，定期的に研究会を催し，最新の課題について調査・研究し討論する．

② 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第6条第2号）

・ 顕彰関係

⑴ 日本ゴム協会賞：創立60周年を記念して設定されたもので，第20回の表彰と第21回の選定を行う．

⑵ ゴム技術有功賞：創立35周年を記念して設定されたもので，第46回の表彰と第47回の選定を行う．

⑶ 優秀論文賞：創立25周年を記念して設定されたもので，第55回の表彰と第56回の選定を行う．

⑷ ゴム技術進歩賞：創立15周年を記念して設定されたもので，第63回の表彰と第64回の選定を行う．

⑸ オーエンスレーガー賞：昭和32年ゴム科学の権威故オーエンスレーガー氏を記念して設立されたもので，第26回の表彰を行う．

⑹ ゴム科学技術奨励賞：創立50周年を記念して設定されたもので，従来の奨励金を奨励賞と改め，第1回の選定を行う．また，昨年度から新設されたCERI若手奨励賞の第1回の表彰を行う．

⑺ 若手優秀発表賞とCERI最優秀発表論文賞：年次大会ならびにエラストマー討論会において優秀と認められるものの表彰を行う．

③ 講演会の開催（定款第6条第3号）

・ 研究分科会において得られた専門的成果に基づいて，分科会主催の講習会，講演会あるいはゴム技術シンポジウムを開催し，会員ならびに一般ゴム科学技術者の研鑽に資する．

④ 会誌及び図書の刊行（定款第6条第4号）

・ 日本ゴム協会誌の発行

協会誌編集に当たって，基本的にはこれまでの基本方針を継承する．

会員へのゴム技術提供及び学術推進のための機関誌「日本ゴム協会誌」発行において以下の企画を推進する．

⑴ ゴム技術を中心に周辺技術やソフトマテリアル材料に関するタイムリーな情報を提供する．

⑵ 会員啓蒙のため，一つのテーマについて，複数回にわたってより詳しく解説した「特論講座」を引続き連載する．

⑶ 今日的なテーマ及びゴム固有のテーマ等で特集を組み，研究部会の協力も得て，定期的に掲載する．

⑷ 「入門講座　やさしいゴムの物理」を引続き連載する．

⑸ わが国で編集発行するゴム技術論文誌として，高いレベルで審査，発行する．

⑹ ゴム技術に関する豆知識を継続して連載する．

⑺ 年次大会及びエラストマー討論会での研究発表やIRC，IRCCあるいはISO/TC45国際会議などの海外におけるゴム，ソフトマテリアル関連の参加記等を掲載し，会員への情報提供に努める．

⑻ 発行予定：平成20年の1年間で12冊（普通号6冊，特集号6冊）

総説，論文等：各号42頁×12冊=504頁，　会告：各号17頁×12冊=204頁，

年間総頁数：708頁（予定）

・ 英文論文誌 e-Journal of Soft Materials

2005年度に，J-Stage（http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsm）上で創刊した英文電子ジャーナル（e-J. Soft Mater.）を継続して発行し，ゴム

を中心とした諸分野の研究成果を世界に発信する場を提供するとともに，世界のゴム科学・技術・工業の発展に寄与する．

・ 出版関係

⑴ 会員に役立つ出版物の企画を検討する．

⑤ 見学及び視察（定款第6条第5号）

・ 国際交流

⑴ 国際ゴム技術会議2008マレーシア（IRC 2008 Malaysia 2008.10/20-23）に代表を派遣する．

⑵ アジア地域を中心とした世界のゴム科学技術の発展に貢献する．

⑥ 会員の親睦（定款第6条第6号）

・ 会員活動の充実と会員増強

会員（正・学生・賛助・名誉）のための活動の場（シンポジウム，講演会，講習会，研究発表会）を積極的に提供し，世界に向けて発信（e-JSM）することでゴム・エラストマーに関する研究開発・科学技術の発展に貢献するとともに社会的ニーズ，業界動向など，会員の「見たい・聞きたい・知りたい情報」を提供する行事企画の推進で，会員一人一人の活動を支援する．会員活動の充実を図り，併せて会員増強の礎となす．

⑦ 関係官庁及び関係団体等の諮問に対する答申又は建議（定款第6条第7号）

・ 研究部会では必要に応じて関係官庁及び関連団体の諮問に応ずる．

・ 標準化部会ではISO/TC45（ゴム及びゴム製品）に対応するJIS規格の制定・改正，及びISO規格の審議について，日本ゴム工業会ISO/TC45国内審議委員会のWG10（用語），WG16(環境側面)，SC1（ホース），SC２（物理試験・化学試験），SC3（原材料），SC4（免震，軟質フォームなどの製品）に対応する分科会メンバーとして実施する．平成20年度もISO規格の適正化活動と併行して，それに対応するJISの制定・改正を行う．またISOの審議案件は約101件あるが，そのうち28件は日本が提案又は改正を要求している案件である．実施にあたってはISO国際会議への積極的な参加と提言，さらに関係官庁及び関係団体の諮問に対する答申・連絡を心がける．

⑧ その他目的を達成するために必要な事項（定款第6条第8号）

・ 支部行事

関東，東海，関西，九州各支部において次のような諸計画を実施する予定で，その詳細については各支部に一任する．

⑴ 初級及び上級講習会

⑵ 初級ゴム技術研修会（講義と実習）（関東）

⑶ セミナー：第一線で活躍の会員の基礎技術と応用技術の修得を目的として年１回予定（関東）．このほか，ゴム産業とハイテクの接点と可能性をポイントとしたアドバンテックセミナーを年１回実施する（関東）．また，若手及び中堅技術者の基礎学力の向上と最先端情報が収集できるサタデーセミナーを年６回予定する（関西）．

⑷ 講演会（技術講演，新製品紹介）

⑸ 見学会

⑹ 各支部における地区活動

関東支部：東日本各地区における会員へのゴム科学技術に係る情報提供，会員相互の親睦と会員増強のための活動を進める．

東海支部：東海各地区におけるゴムの科学技術の普及と会員増強のための行事活動を進める．

関西支部：広島，岡山，神戸地区での社会貢献と会員増強を目的とした行事活動を進める．

九州支部：山口，熊本地区における行事活動と会員へのサービス向上及び会員増強のための行事活動を進める．

・ その他

⑴ 日本語版ホームページは定期的なメンテナンスにより，会員及び会員外への最新情報を発信できる体制を強化する．また，新規作成した海外に向けての英文ホームページの充実を図る．

・ 外郭団体の活動

ゴム技術フォーラム

⑴ 月例会は各種のカテゴリーからテーマを選択し，また，講演以外に各種施設の視察と東京以外での開催を織り交ぜ実施する．

⑵ 「ゴム・エラストマーと未来の交通」調査委員会は，本格的調査に入り，平成21年3月の公開フォーラムで最終報告を行う．

⑶ 今まで２回中国で行ってきた日中ゴム技術交流会を，第3回目の今回は本年12月8・9日に東京農工大学で開催する．

事業計画表

月	本　部	各　支　部	研究部会
4		東 海　講演会(4/17) 西　ｻﾀﾃﾞｰｾﾐﾅｰ(4/5) 例会講演会(4/24) 九	
5	創立80周年記念 年次大会　2008 (5/21-22)　関東 第75回通常総会	東　初級研修会(5/7-6/30) 支部総会(5/22) 海　支部総会(5/26) 西　支部総会(5/26) 研修所卒業式(5/30) 九	
6		東　入門講座(6/24-27) 札幌技術講演会(6/13) 海　講演会(6/17) 西　ｻﾀﾃﾞｰｾﾐﾅｰ(6/7) 例会講演会(6/) 九　支部総会・技術講演会(6/20)	
7	第44回夏期講座 (7/10-11) 関西(奈良)	東 海　入門講座(7/16-17.23-24) 西 九	ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ 接着　(7/3)
8		東 海 西　ｻﾀﾃﾞｰｾﾐﾅｰ(8/2) 九　ﾜﾝﾎﾟｲﾝﾄｾﾐﾅｰ　(8/　)	ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ ｴﾗｽﾄﾏｰ補強　(8/20)
9		東　若手ｾﾐﾅｰ(9/3) 見学会(9/　) 海　見学会(9/) 西　研修所入学式(9/3) 例会講演会(9/　) 九　工場見学(9/)	力学講習会 (9/5)
10	IRC2008Malaysia (10/20-23)	東　ｴﾗｽﾄﾏｰﾄﾋﾟｯｸｽ　(10/4) 総合紹介講演会(10/23) 海　講演会(10/15) 西　ｻﾀﾃﾞｰｾﾐﾅｰ(10/4) 例会講演会(10/8) 秋期講習会(10/23-24) 九	ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ 練り(10/9-10) ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ 成形　(10/)
11		東　秋期講習会(11/10-11) 海　中化連(11/8-9) 秋期講演会(11/　) 西　例会講演会(11/26) 九　先端技術講演会(11/)	ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ 分析　(11/14)
12	第20回 ｴﾗｽﾄﾏｰ討論会 (12/2-3)　東海	東　講演会・忘年懇親会(12/11) 海 西　ｻﾀﾃﾞｰｾﾐﾅｰ(12/6) 紹介講演会(12/12) 九　年末講演会(12/)	ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ 金型(12/)
21年 1		東 海 西　例会見学会.(1/23) 九	ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ ﾄﾗｲﾎﾞﾛｼﾞｰ(1/)
2		東　講演会(2/6) ｱﾄﾞﾊﾞﾝﾃｯｸｾﾐﾅｰ(2/18) 海　講演会(2/) 西　ｻﾀﾃﾞｰｾﾐﾅｰ(2/7) 例会講演会(2/　広島) 九	ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ 劣化　(2/) ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ 衛生　(2/)
3		東 海 西 九　事例発表会(3/)	ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ 配合(3/　)

平成20年度収支予算

社団法人　日本ゴム協会

収支予算書

（平成20年４月１日から平成21年３月31日まで）

（一般会計）　　（単位：円）

科　目	予算額	前年度予算額	増　減	備　考
Ⅰ．事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	12,000	12,000	0	
基本財産運用収入	12,000	12,000	0	
② 入会金収入	100,000	50,000	50,000	
入会金収入	100,000	50,000	50,000	
③ 会費収入	43,909,000	44,465,000	△ 556,000	
賛助会費収入	26,215,000	26,425,000	△ 210,000	
正会費収入	17,460,000	17,802,000	△ 342,000	
学生会費収入	234,000	238,000	△ 4,000	
④ 事業収入	32,330,000	29,390,000	2,940,000	
広告料収入	12,810,000	11,970,000	840,000	
会員外購読料収入	1,500,000	1,500,000	0	
ﾊﾞｯｸﾅﾝﾊﾞｰ収入	50,000	100,000	△ 50,000	
本部行事収入	6,470,000	4,320,000	2,150,000	
年次大会収入	3,500,000	1,350,000	2,150,000	
夏期講座収入	1,720,000	1,720,000	0	
討論会収入	1,250,000	1,250,000	0	
研究部会収入	11,500,000	11,500,000	0	
委員参加収入	2,500,000	2,500,000	0	
行事収入	9,000,000	9,000,000	0	
標準化部会収入	0	0	0	
講習会収入	0	0	0	
⑤ 寄付金収入	860,000	720,000	140,000	
⑥ 雑収入	200,000	88,000	112,000	
事業活動収入計	77,411,000	74,725,000	2,686,000	
2 事業活動支出				
① 事業費支出	52,920,000	50,580,000	2,340,000	
会議費支出	700,000	700,000	0	
表彰費支出	860,000	700,000	160,000	
普及費支出	2,000,000	2,000,000	0	
旅費交通費支出	900,000	900,000	0	
通信費支出	900,000	900,000	0	
印刷費支出	500,000	300,000	200,000	
支部費支出	1,560,000	1,580,000	△ 20,000	
本部行事費支出	4,800,000	3,500,000	1,300,000	
年次大会費支出	2,500,000	1,200,000	1,300,000	
夏期講座費支出	1,200,000	1,200,000	0	
討論会費支出	1,100,000	1,100,000	0	
雑誌費支出	12,700,000	12,700,000	0	
編集費支出	1,800,000	1,800,000	0	
印刷製本費支出	7,500,000	7,500,000	0	
発送費支出	2,500,000	2,500,000	0	
原稿料支出	900,000	900,000	0	

研究部会費支出	9,000,000	9,000,000	0	
会議費支出	3,500,000	3,500,000	0	
行事費支出	5,500,000	5,500,000	0	
標準化部会費支出	0	0	0	
講習会費支出	0	0	0	
人件費支出	18,400,000	17,700,000	700,000	
給料手当支出	16,400,000	15,800,000	600,000	
福利厚生費支出	2,000,000	1,900,000	100,000	
国際交流費支出	600,000	600,000	0	
② 管理費支出	23,870,000	23,820,000	50,000	
会議費支出	300,000	300,000	0	
旅費交通費支出	1,200,000	1,000,000	200,000	
通信費支出	400,000	500,000	△ 100,000	
消耗品費支出	350,000	350,000	0	
事務所費支出	4,400,000	4,400,000	0	
事務費支出	2,700,000	2,700,000	0	
雑支出	500,000	500,000	0	
人件費支出	13,020,000	13,070,000	△ 50,000	
給料手当支出	9,800,000	9,700,000	100,000	
福利厚生費支出	1,800,000	1,900,000	△ 100,000	
通勤費支出	750,000	800,000	△ 50,000	
中退掛金支出	670,000	670,000	0	
公租公課支出	1,000,000	1,000,000	0	
事業活動支出計	76,790,000	74,400,000	2,390,000	
事業活動収支差額	621,000	325,000	296,000	
Ⅱ. 投資活動収支の部				
1 投資活動収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2 投資活動支出				
記念行事基金支出	0	5,000,000	△ 5,000,000	
投資活動支出計	0	5,000,000	△ 5,000,000	
投資活動収支差額	0	△ 5,000,000	5,000,000	
Ⅲ. 財務活動収支の部				
1 財務活動収入	0	0	0	
2 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ. 予備費支出	500,000	325,000	175,000	
当期収支差額	121,000	△ 5,000,000	5,121,000	
前期繰越収支差額	14,990,704	16,986,240	△ 1,995,536	
次期繰越収支差額	15,111,704	11,986,240	3,125,464	

（注） 1. 収支予算書は「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に示された3区分の様式により作成している
2. 借入金限度額 0円
3. 債務負担額 なし

収　支　予　算　書

（平成20年４月１日から平成21年３月31日まで）

（収益事業）　　（単位：円）

科　目	予算額	前年度予算額	増　減	備　考
Ⅰ．事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 事業収入	4,950,000	5,900,000	△ 950,000	
出版物収入	3,850,000	4,800,000	△ 950,000	
ゴム技術基礎収入	1,800,000	1,580,000	220,000	
ゴム試験法収入	500,000	1,510,000	△ 1,010,000	
ゴム工業便覧収入	500,000	660,000	△ 160,000	
ゴム用語辞典収入	350,000	350,000	0	
ゴム技術入門収入	700,000	700,000	0	
印税収入	500,000	500,000	0	
業務受託収入	600,000	600,000	0	
② 雑収入	500,000	800,000	△ 300,000	
事業活動収入計	5,450,000	6,700,000	△ 1,250,000	
2 事業活動支出				
① 事業費支出	5,260,000	6,670,000	△ 1,410,000	
出版費支出	670,000	1,280,000	△ 610,000	
印刷費支出	0	400,000	△ 400,000	
会議費支出	100,000	100,000	0	
通信費支出	30,000	50,000	△ 20,000	
事務所費支出	300,000	300,000	0	
消耗品費支出	20,000	30,000	△ 10,000	
発送費支出	70,000	100,000	△ 30,000	
旅費交通費支出	100,000	100,000	0	
事務費支出	50,000	200,000	△ 150,000	
書籍購入費支出	410,000	410,000	0	
人件費支出	4,110,000	4,910,000	△ 800,000	
給料手当支出	3,300,000	4,100,000	△ 800,000	
福利厚生費支出	600,000	600,000	0	
通勤費支出	210,000	210,000	0	
雑支出	70,000	70,000	0	
事業活動支出計	5,260,000	6,670,000	△ 1,410,000	
事業活動収支差額	190,000	30,000	160,000	
Ⅱ．投資活動収支の部				
1 投資活動収入	0	0	0	
2 投資活動支出	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ．財務活動収支の部				
1 財務活動収入	0	0	0	
2 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ．予備費支出	100,000	30,000	70,000	
当期収支差額	90,000	0	90,000	
前期繰越収支差額	4,221,082	3,891,346	329,736	
次期繰越収支差額	4,311,082	3,891,346	419,736	

（注）1．収支予算書は「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に示された3区分の様式により作成している
2．借入金限度額　0円
3．債務負担額　なし

各　賞　の　表　彰

社団法人　日本ゴム協会

☆名誉会員推薦候補者

本会名誉会員推薦規定に基づき名誉会委員に推薦する．

元会長　　吉本　敏雄氏

氏は，本会の会員暦46年で名誉会員推薦規定第5条第1項に該当し，初代技術部会長として体制強化とレベルアップに努め，また副会長，会長を歴任されゴム協会行事の活性化と会員増強に尽力された功績は多大である．

☆第20回日本ゴム協会賞

業績の名称：「自動車用アクリルゴムOリングの高性能化」

受 賞 者：NOK株式会社　松尾　繁美氏
平松二三男氏
永岡　久幸氏
山下　英市氏
守山五輪夫氏

☆第46回ゴム技術有功賞

受 賞 者：井上　一雄氏

受 賞 者：平川　　弘氏

☆第55回優秀論文賞

受賞論文：「リジンジイソシアナートを用いたセグメント化ポリウレタンウレアの特性解析と分解挙動」

受 賞 者：九州大学　波多野道子氏
山口　智弘氏
大塚　英幸氏
高原　　淳氏
名古屋大学　青井　啓悟氏
財団法人高輝度光科学研究センター
佐々木　園氏

受賞論文：「原子間力顕微鏡によるカーボンブラック充てん天然ゴムの力学物性評価」

受 賞 者：東京工業大学　額賀　英幸氏
藤波　　想氏
渡部　浩行氏
中嶋　　健氏
西　　敏夫氏

☆第26回オーエンスレーガー賞

研究題目：「ゴム，プラスチックスの混練装置に関する研究」

受 賞 者：井上技術士事務所　井上　公雄氏

☆第63回ゴム技術進歩賞

研究課題：「カーボンブラック等を使わずに体積抵抗率最小のエラストマー」

受 賞 者：タイガースポリマー株式会社　山﨑　敏生氏

☆第1回CERI若手奨励賞

研究の名称：「ナノ力学物性マッピング測定法の開発」

受 賞 者：東京工業大学大学院理工学研究科
中嶋　　健氏